

令和 7 年度 堺市博物館 展覧会スケジュール

3月8日(土)～5月11日(日)

March 8 ▶

May 11 2025

企画展

井上関右衛門家文書の世界
ー堺鉄炮の生産・販売・技術ー

History

堺の鉄炮鍛冶、井上関右衛門家に伝わった約 23,000 点にのぼる井上関右衛門家文書からは、堺鉄炮鍛冶のあきないの広がりや生産体制の実態が次々と判明しています。本展では、近年の調査成果を中心に、当館蔵の芝辻理右衛門家文書ともあわせ、近世の堺鉄炮鍛冶の歴史像を紹介します。

火事羽織
(個人蔵)

5月20日(火)～7月13日(日)

May 20 ▶

July 13 2025

企画展

堺の技と美ー工芸を彩るレッド＆ブルーー

Color

造形の重要な要素として、「色」が挙げられます。人びとはいにしえから現在にいたるまで、さまざまな知識と技術、多大な労力、そしてユニークなアイデアによって人工物を着色し、多彩に色を表現しました。本展では、生命の根源を表し、大阪・関西万博のイメージカラーでもある赤と青の2色に注目します。

太鼓形酒筒
(国指定重要文化財・
堺市博物館蔵)

7月19日(土)～9月7日(日)

July 19 ▶

September 7 2025

企画展

堺のたからもんー金で魅せる・黒を愛でるー

Color

当館では、昭和 55 (1980) 年の開館から現在まで、多岐にわたる作品を収集してきました。長年にわたって大切に伝えられてきたものが数多くあります。本展では色をテーマにした企画展の第二弾として、華やかな金色と深みのある黒色をまとう品々によって彩られた、堺の「宝物」を紹介します。

湊焼将棋形香合
(堺市博物館蔵)

9月20日(土)～11月3日(月・祝)

September 20 ▶

November 3 2025

特別展

第 27 回堺市所蔵美術作品展 堺の竹工芸家たち
ー前田竹房斎と田辺竹雲斎ー

Art

明治時代、堺では文人趣味の流行から竹工芸をつくる専門の職人（籠師）として、前田竹房斎と田辺竹雲斎が活躍していました。本展では、歴代前田家と田辺家の作品、そして現在活躍する四代田辺竹雲斎氏の作品から伝統に根ざした新しい表現の可能性を追求します。

初代前田竹房斎 鳳尾竹花籃
(堺市蔵)

11月4日(火)～令和8年3月31日(火)

November 4 ▶ March 31 2026

設備改修工事のため休館

Closed for Equipment Maintenance

常設展示

重要文化財 観音菩薩立像 の出品期間

5月20日(火)～11月3日(月)

May 20 ▶ November 3 2025



堺市博物館学芸員サンデートーク

4月13日(日)～11月2日(日)

毎週日曜日 11時30分～12時に

学芸員による展示品の紹介を行います

【交通案内】

電車：JR 阪和線「百舌鳥」駅下車 約 500m

バス：南海高野線「堺東」駅から南海バス（140 系統で約 10 分）

「堺市博物館前」停留所下車 約 280m

駐車場：大仙公園第 3 駐車場（仁徳天皇陵古墳東南・有料）

堺市博物館

大阪府堺市堺区百舌鳥夕雲町 2 丁（大仙公園内）

TEL:072-245-6201 FAX:072-245-6263

<https://www.city.sakai.lg.jp/kanko/hakubutsukan>

開館時間：9時30分～17時15分

（入館は 16 時 30 分まで）

休館日：月曜日（祝・休日は開館）、年末年始

観覧料：一般 200 円（160 円）

高校・大学生 100 円（70 円）

小・中学生 50 円（30 円）

※（ ）内は 20 名以上の団体料金

※堺市在住・在学の小・中学生は無料

※堺市在住の 65 歳以上の方・障害のある方は無料（要証明書）

※特別展開催期間中は観覧料が変更になります



堺市博物館公式キャラクター

サカイトケルくん

©YABUUCHI Satoshi

